



下関短期大学学友会 スポーツ同好会

下関短期大学で行われる子どもたちへの身体能力開発トレーニング。

将来、保育者を志す学生がサポートする、この活動。そこにあるものとは。

第3の場所から
広がる可能性

楽しくて

本格的なトレーニング

下関短期大学で月に一度行われる身体能力開発トレーニング。この言葉とは裏腹に、目を輝かせながら走る子どもたちは楽しそうです。楽しむことを大切に作られたこのプログラムは、やまぐちスポーツ医・科学サポートセンターの協力の下に行われる本格的なものです。走る、跳ぶ、投げる、蹴るといった動作や、プランクなどのトレーニングで、年少から小学生の子どもたちが体幹を鍛えています。



▲鬼ごっこをしながらの身体能力開発トレーニング

5歳までに正しい体育を

スタッフは、スポーツ同好会の学生です。子どもに話しかけたり、手を取って一緒に走ったりする学生の表情は、笑顔いっぱい。それもそのはず、みんな保育者を志す、子ども好きな学生なのです。

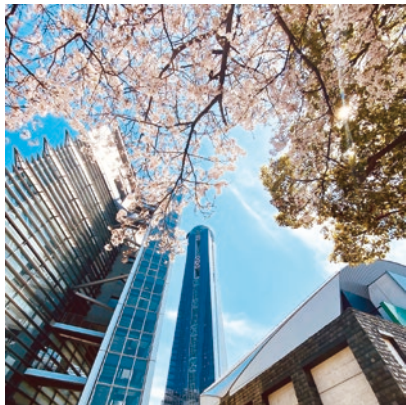
この会を立ち上げたのは渡邊義明さん。渡邊さんは、主に高校の保健体育教員として教育に携わりましたが、豊浦高校の校長を最後に退職。今は下関短期大学保育学科の教授として教育に携わります。「器用さやリズム感を担う神経系の発達には、5歳までに80%程度が確立されると言われています。学生が子どもたちの先生となり、この時期に正しい体育を教えることで、下関の子どもたちの運動能力が上がると思います。将来、健康寿命が延びる人が1人でも増えるとうれしいです」

学友会の会長で保育学科2年の塩田華子さんに、会への想いを伺いました。「ここではいろいろな子どもや保護者と関わることができます。ス



Linked Instagram インスタグラム

市報×インスタグラム連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します♡



♡ Q ▼ @chayama.stさん



♡ Q ▼ @kuumii1969さん



♡ Q ▼ @mhmt3316111さん

Cherry Blossoms, Shimono Seki-Style

Editor's note

編集後記

◆キラキラKidsに癒されました。掲載できなかった写真が心残りでしたが、撮影へのご協力、ありがとうございました！ 廣野
◆編集作業をする日は一日中パソコンの画面とにらめっこ。どんどん目が悪くなっていきます。新しい眼鏡…いや、取材の日を増やそう。宮村
◆今月号は子どもの笑顔が満載♪子どもたちの活躍を見て、下関がもっと明るく見えました。キラキラKids情報をもっと発信したい！ 西村



◀子どもとハイタッチをする渡邊さん。「運動や人との関わりが苦手な子どもにぜひ来てほしいです。運動しなくても来るだけで良いです。楽しんでもらうことを大切にしています」

▶内田涼羽さん(写真左)。父親の大輔さんは「自分自身でやりたいと言えない子どもなので、運動をするきっかけができました。親以外の関係、学生さんと触れ合える場を設けてくださったことにも、大変感謝しています」と、参加した感想を話してくれました。



◀平田紗菜さん(写真右)。「ここは、いろんなトレーニングをするから、いろんなことができるようになりました。ずっとやると上手になると思って、続けています」

▶やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター 山田敢一センター長(写真右)。「運動は楽しいことがすごく大事です。子どもたちを、その気にさせることも大切にしています。そして、いろいろな動きを取り入れて、発育に応じた運動を身に付けられるように心がけています」



「キップのやり方を子どもに教えても、伝わっていないか不安でいっぱいでした。一緒にやってみると、理解してもらっているんだなと実感しましたね。子どもが上手くできたときはハイタッチをして『よかったですね』と褒めるように心掛けています。これからこの会で学んだことを生かして、子どもや保護者に愛される保育者になりたいです」

第3の場所に秘めた願い

ここには、もう1つ渡邊さんの秘めた願いがあります。

「子どもの第1の場所は家庭ですよね。第2は園・学校。園・学校で上手くいかないこ

ともあるわけです。その時に、ここを子どもの第3の場所として提供できて、親御さんから『子どもが積極的に園・学校に行くようになった』と言ってもらえるようになります、など思っています。私たちは、運動能力や競技力を高めるためだけじゃなくて、教育としてやりたいんですよね。人生の壁にぶつかった時に、第3の場所を経験したことを生かして、ちょっと前に出られるような人間になってほしいなという狙いもあるんです」

▼会への問い合わせ
下関短期大学
(☎223-0339) 渡邊さんへ。